

特集

消防団員等公務災害補償等全国研修会

平成22年10月28日（木）、東京都千代田区の東海大学校友会館において、関係団体職員119名の出席をいただき、標記研修会を開催いたしました。

はじめに、当基金内貴常務理事のあいさつがあり、その後、3名の方からご講演をいただきました。

講演は、消防庁の消防団員確保アドバイザー後藤一蔵氏による「消防団と地域防災について」で始まりました。後藤氏の講演は、消防団の研究者として、受講者の皆さんに改めて消防団の重要性を示す内容でした。

次に、消防基金 S-KYT 指導員 谷亜生氏による「S-KYT 研修の重要性について」の講演が行われました。公務災害補償業務、退職報償金業務と並んで、当基金の根幹を成す業務である公務災害防止のために行われている S-KYT 研修について、その重要性が強く、分かりやすく受講者の皆さんに伝えられました。

最後に、自治医科大学付属病院循環器内科助教の泉学氏による「循環器疾患について」～消防団員の公務災害防止のために～の講演が行われました。泉氏の講演は、公務による消防団員の死亡に大きく関係している循環器疾患について、その定義、分類、原因、治療方法等について幅広く行われました。また、泉氏は脳卒中の専門医でもある事から、講演は脳疾患関係にも及び、盛りだくさんな内容となりました。

受講者の皆さんは、いずれの講演にも熱心に耳を傾けられ、「得るところが大きかった」、「今後の業務に活かしたい」といった声が、多数、聞かれました。

以下に、好評を博した講演の内容を掲載いたします。



会場の様子